

9

オオルリシジミの学習

実施校：白水小学校（南阿蘇村）3年生

※H24年度モデル校プログラムより

■実施概要

阿蘇の草原にはたくさんの野生動植物がくらしています。白水小学校では南阿蘇村の村民の蝶「オオルリシジミ」を中心に草原の学習を行いました。

事前学習でオオルリシジミについて基本的なことを学んだ上で、地元の下碓牧野へ出かけ、オオルリシジミの食草であるクララが生育する広々とした草原で野外体験学習。地元の専門家岡俊樹先生のお話を聞いた後、オオルリシジミの観察をしたりすることで、草原や動植物への興味や関心が高まりました。

■学習のねらい

- ・草原には牛や馬だけでなく、色々な生きものがあることを知る。
- ・生きものや草原についてもっと知りたいという気持ちになる。
- ・オオルリシジミについて学ぶ中で、草原と人との関係、そこにらす野生の生きものとの関係を知る。
- ・オオルリシジミがらす草原を大切に思う気持ちになる。

■学習の流れ

①教室にて-45分/1コマ

草原について学ぼう(事前学習)

5月16日(水)14:00~14:45

- ・クイズや紙芝居を交えて、草原やオオルリシジミのことを学習

<導入>・草原クイズ

<展開>・草原には何がいます?ワークブックで学習
・オオルリシジミってどんなチョウ?

<ふりかえり>

・明日、草原にオオルリシジミを見に行くよ

②下碓牧野にて-150分/3コマ

オオルリシジミを観察しよう!

5月18日(金)9:30~12:00

- ・地元の牧野で、オオルリシジミや草原の生きもの観察

9:30 集合(あいさつ、今日の予定について説明)

9:40 小学校を出発(村のバスで下碓牧野へ)

10:00 「オオルリシジミを観察しよう!」

11:20 活動のふりかえり

11:40 牧野を出発

12:00 学校に到着・活動終了

③教室にて-45分/1コマ

学んだことをふりかえろう(事後学習)

5月21日(月)9:35~10:20

- 草原新聞やスケッチブックを使ってふりかえり、専門家への質問

<導入>・草原新聞を使ってふりかえり

<展開>・質問タイム

<ふりかえり>

・スケッチブックを使って全体のふりかえり

・児童から3日間の学習の感想発表

■実施の様子

◇事前学習

- ・クイズやワークブック「牛や馬の放牧」(P6,7)を使って、草原にいる生きものや、オオルリシジミについて基本的なことを学習。

◇草原に行ってオオルリシジミを観察

- ・地元の下積牧野へ出かけ、オオルリシジミの食草であるクララが生育する広々とした草原で自然観察。



阿蘇の草原ワークブック P6, P7



クララについてオオルリシジミの卵を見つけて興味津々



草原ビンゴで、草原の生きもの探し。見つけた植物や生きものを発表。

■成果など

- ・全体的に、写真や絵など視覚的な教材を多く使ったため、低学年の子どもたちにもわかりやすく楽しく学習できた。
- ・ワークブックを使った事前学習は、子どもたちの興味を高めるのに効果的だった。
- ・観察会では、ビンゴゲームはビンゴの項目に沿って生きものを探すことで、観察の視点をもちやすかった。また、後のふりかえりで思い出すのにも役に立ち、事後学習ではたくさんの質問が出た。
- ・子どもたちの感想からは、専門家のお話やオオルリシジミの観察などを通して、身近にある自然を大切にする心が育まれたことが感じられた。

留意点

- ・低学年の場合、ワークブックや草原新聞を使った学習では、漢字を読むことに一生懸命になって内容の理解までいかない場合もあります。読み聞かせるやり方もあります。
- ・事後学習では、講師の方へ事前に質問をお渡しできれば、あらかじめ回答を準備いただき、より学習を深めることができます。そのために、事後学習の前に1時間ふりかえりをして質問を整理しておくことが考えられます。